

様式 2

平成 31 年度 学術振興基金助成による成果報告書

令和元年 9 月 2 4 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学類・教授

申 請 者 名 大 山 大

助成事業の区分	いずれかにチェックしてください 研究協力に関する事業 (<input checked="" type="checkbox"/> 学会参加) 学術振興に関する事業 (<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 事務職員)
事業名	2019年度 化学系学協会東北大会
事業実施期間	令和元年 9 月 2 1 日～ 令和元年 9 月 2 2 日
成果の概要	<p>山形大学小白川キャンパスで開催された 2019 年度化学系学協会東北大会で研究成果の一部を下記のタイトルでポスター発表した。</p> <p>「Photoinduced CO-releasing behavior of manganese carbonyl complexes containing a sulfide group (スルフィド基を含むマンガンカルボニル錯体の光誘起 CO 放出挙動)」(菅野貴敏、高瀬つぎ子、大山大)</p> <p>ポスターの概要について以下に示す。一酸化炭素 (CO) の生体内において安全かつ制御された CO 送達のため、CO 放出分子 (CORMs) の開発が必要であるが、外部刺激応答性、水溶性、生体適合性等の問題がある。本研究では光応答性を示すマンガンカルボニル錯体を基盤とし、水溶性および生体適合性を有する金ナノ粒子と結合可能なスルフィド基を含む配位子を導入した錯体を合成し、光照射による錯体からの CO 放出挙動を UV-vis および IR スペクトルで反応追跡することにより明らかにした。</p> <p>本学会では、無機化学、分析化学、物理化学、有機化学、化学工学、高分子化学等の幅広い分野の学生および教員が参加しており、分野の垣根を超えて活発な意見交換を行うことができた。また、「日本化学会会長 河合眞紀先生」を含む著名な先生方の特別講演に参加し、研究内容や今後の課題について拝聴した。</p>